

高圧ガス販売計画書

1 販売の目的

該当箇所にチェックを入れること

- (1) 販売するガスの用途 工業用 冷媒用 消火用 空気呼吸器用
 医療用 その他

販売する目的を具体的に記載すること。
 例：冷凍機への充填用
 ：家庭用炭酸水サーバー用

- (2) 供給の形態 容器（カードルを含む。） ローリー（長尺容器を含む。）
 導管 貨車 船

該当箇所にチェックを入れること

2 販売するガスの種類

| ガ ス 名 | ガ ス 名 | ガ ス 名 |
|---------------|-------|-------|
| 液化炭酸ガス | | |
| フルオロカーボン（R22） | | |
| フルオロカーボン（R32） | | |
| 圧縮空気 | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

3 高圧ガスの貯蔵の有無

(1) 無 []

(2) 有 [] 最大貯蔵量 例：10kg又は2m³

高圧ガスを300m³以上貯蔵する場合は、別途貯蔵所の設置許可又は届出を
 します。（300m³未満の場合は、9に該当事項を記入する。）

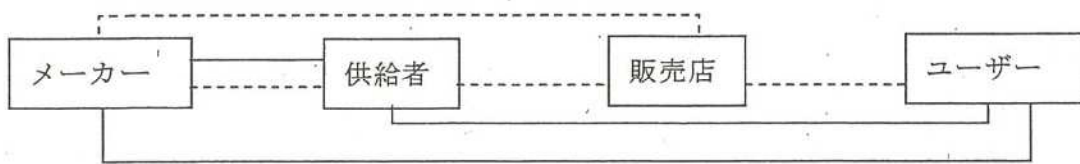
4 販売の方法

イ. 自社配送

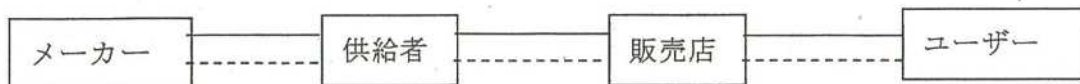
委託配送 該当項目に○印をすること

特記事項

(1) ガス供給業者からユーザーへ直送する。



(2) 自社車両でガス供給業者からユーザーへ直送する。



(凡例) ————— 容器の流れ - - - - - 伝票の流れ

ガス供給業者名 _____ 供給業者名を記載 _____
所在地 _____ 電話 _____
ガス供給業者名 _____
所在地 _____ 電話 _____
ガス供給業者名 _____
所在地 _____ 電話 _____
ガス供給業者名 _____
所在地 _____ 電話 _____

5 販売主・責任者氏名 _____ ガス販売上の責任者を記載する
高圧ガス販売主任者については、別紙で届出ます。

6 容器管理台帳の様式 (別紙)

7 販売台帳の様式 (別紙)

8 周知の方法 (様式は別途添付します。)

記載できないのであれば別紙でも可

9 300m³未満の高圧ガスを貯蔵する容器置場を所有又は占有する場合

ア 貯蔵する高圧ガスの種類及び量

該当箇所に
貯蔵量を記
載すること

| | 可燃性ガス | 可燃性 毒性ガス | 毒性ガス | 酸素 |
|-------|--------------------|-----------------------|--------------------|-----------------------|
| 最大貯蔵量 | m ³ ・kg | m ³ ・kg | m ³ ・kg | m ³ ・kg |
| | 特殊高圧 ガス | 第1種ガス | その他の ガス | 合計 |
| 最大貯蔵量 | m ³ ・kg | 10 m ³ ・kg | m ³ ・kg | 10 m ³ ・kg |

(圧縮ガス1m³をもって液化ガス10kgと換算します。)

イ 容器置場の構造等

① 神奈川県高圧ガス貯蔵施設基準によるもの []

② その他のもの [○]

該当箇所にチェック
を入れること

a 可燃性ガス又は毒性ガスにあつては通風の措置

※貯蔵施設基準等を参照

※例規集等を参照

b 充てん容器と残ガス容器の区分の措置

例：床に明示し区分する。

：置場を分けて管理する。

c 可燃性ガス、毒性ガス及び酸素の区分の措置

例：床に明示し区分する。

：置場を分けて管理する。

d 不活性ガス、空気を除く容器置場の周囲2m以内の火気の使用禁止、
かつ、引火性又は発火性の存置禁止の措置

例：周囲に火気の使用禁止を明示

e 充てん容器等を温度40℃以下に保つ措置

例：室内にて管理

：温度計等において温度管理を徹底する

f 充てん容器等の転倒転落を防止する措置

例：鎖掛けで固定

：ロープ等で固定